

# 第67期 環境活動報告(2019年7月～2020年6月)

2020年7月

弊社は、下表の5事業活動において、品質・環境目標を定め環境活動を行っております。

- ・ 施工部門は、“著しい環境側面”は維持管理で運用し、工事成績の向上や良好な顧客評価に繋がる環境予防処置や環境に配慮した地域貢献活動の実施などに取り組んでおります。
- ・ オフィス業務・営業活動は、施工部門と同様に“著しい環境側面”は維持管理で運用し、社会貢献活動などに取り組んでおります。
- ・ 建築設計は、環境配慮設計の実施を目標に掲げて取り組んでおります。
- ・ 工事現場では“著しい環境側面”をそれぞれ特定し、個別の環境目標を設定し環境活動に取り組んでおります。

事業活動	品質・環境目標	活動項目	達成度評価 ○：達成 ×：未達	
土木施工	1 工事成績評定点の向上	1 着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質、環境それぞれ予防処置を1項目以上決定する。 ・地域社会や住民に対する貢献活動を2項目以上実施し、発注者へ報告する。	×	○
		2 地下埋設物や架空線が存在し施工への影響が予想される工事は、現地調査の確実な実施と事故防止対策を徹底する。	×	
	2 工事利益の確保	3 上位職者が現場巡回を行い、効果的な指示により品質や環境のクレームや費用損失の発生を防止する。	○	
		4 実行予算計上利益を確保するため、月々の原価管理を厳密に行う。	○	
舗装施工	1 工事成績評定点の向上	1 着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質及び環境の予防処置を各1項目以上決定する。	○	○
		2 地域社会や住民に対する貢献活動を1項目以上実施し、発注者へ報告する。	○	
	2 労働災害、第三者災害、品質クレーム、環境クレームを発生させない	3 品質クレーム、環境クレームの発生を防止するため、主要工種施工前に、品質や環境に係る対応について不備や問題がないことを確認させ、報告を求める。	○	
		4 舗設前に、安全施設や交通誘導員の配置計画を含む道路使用許可条件を報告させ、実施状況を臨場又は写真で確認する。	○	
建築施工	1 良好な顧客評価の維持	1 着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質に関する提案を2項目以上、環境予防処置を1項目以上決定する。	×	×
		2 地域社会や住民に対する貢献活動を1項目以上実施する。	×	
	2 工事利益の確保	3 上位職者が現場巡回を行い、効果的な指示により品質面の費用損失の発生を防止する。	○	
		4 実行予算計上利益を確保するため、月々の原価管理を厳密に行う。	○	
建築設計	1 環境配慮設計の実施	1 設計を通じて、環境に対する配慮事項を提案し、採用してもらう。提案数、採用数は建築部長が定める。	—	—
		2 新潟市内の2000㎡以上の建物はCASBEEで評価する。	—	
オフィス業務・営業活動	1 人材確保に向けて積極的に活動を展開する	1 企業PRの推進、企業説明会の参加や開催、インターンシップ受入などを通じて人材確保を図る。	○	○
	2 会社のイメージアップを図る	2 社会貢献活動を展開する。 1) 社外や社内主催の環境美化活動や清掃活動の実施 2) 献血活動への協力 3) エコキャップの収集と窓口組織への寄贈	○	
		3 働き方改革を推進する	3 事務業務の生産性向上(効率化)のため、本部事務、店舗事務、現場事務を総合的に見直し、業務の削減や支援などに取り組む。	
	4 年次有給休暇付与日数10日以上全ての労働者に対して、より多くの年次有給休暇を取得できるよう、環境整備に努める。		○	